

要約カードをつくろう

小5／中心になる語を えらんで、要約カードに 書き入れましょう

1 / 5

なまえ

ひづけ

こうほの語はどれも本文に1回だけ出てきます。この中から中心になる語を3つえらび、要約カードの□に左から順に、本文の書き方のまま書き入れましょう。

森の落ち葉のゆくえを 読んで、答えましょう。

- ① 秋が深まると、木の葉が色を変えて地面に散る。
- ② 地面に積もったその葉を落ち葉とよぶ。
- ③ その下まで日の光はほとんど入らない。
- ④ そのため、地面の温度が急に上がったり下がったりしにくい。
- ⑤ 葉が積もった下の地面はしめり気が多く、あたたかい。
- ⑥ 葉を食べる生き物にとって、そこは冬をこすのに都合がよい。
- ⑦ そこでダンゴムシやミミズが葉を食べ、細かくくだく。
- ⑧ 土の中の生き物が、細かくなった葉をさらに分解する。
- ⑨ この働きで、葉の中のものが水にとけやすい形に変わる。
- ⑩ こうしてできた養分が、雨水とともに土の深いところへ運ばれる。
- ⑪ 木の根がそれをすい上げ、新しい葉や実を作る。
- ⑫ 風がふくと、葉が同じ場所に集まって厚く積もる。
- ⑬ 分解が進む速さが、気温や水の量で変わる。
- ⑭ たおれた木も、同じように長い時間をかけてくずれていく。
- ⑮ たとえば、公園のすみに葉を集めておくと、次の年には形がくずれている。
- ⑯ 森の中でこのはたらきが毎年くり返され、土が豊かに保たれる。

こうほ（この中から3つえらんで□に書く）

秋

落ち葉

公園

土の中の生き物

養分

木の根

要約カード

□ は、 □ によって、 □

になる。

□には、こうほからえらんだ語を左から順に入れる。

この要約に入れなくてよい文のばんごう

「たとえば」で はじまる 文は、くわしい 例や つけ足しです。

いちごドリルプリント

つづきの無料プリント
「読解プリント」のプリント一覧がひらきます



要約カードをつくろう【こたえ】

小5／中心になる語を えらんで、要約カードに 書き入れましょう

1 / 5

なまえ

ひづけ

赤い線を ひいた 文に、ぬき出す語が 1回だけ 出てきます。
書き入れた語が 本文と 同じ書き方（送りがなも同じ）なら ○。

森の落ち葉のゆくえ

入れなくてよい 文 … ⑮

- ① 秋が深まると、木の葉が色を変えて地面に散る。
- ② 地面に積もったその葉を落ち葉とよぶ。
- ③ その下まで日の光はほとんど入らない。
- ④ そのため、地面の温度が急に上がったり下がったりしにくい。
- ⑤ 葉が積もった下の地面はしめり気が多く、あたたかい。
- ⑥ 葉を食べる生き物にとって、そこは冬をこすのに都合がよい。
- ⑦ そこでダンゴムシやミミズが葉を食べ、細かくくだく。
- ⑧ 土の中の生き物が、細かくなった葉をさらに分解する。
- ⑨ この働きで、葉の中のものが水にとけやすい形に変わる。
- ⑩ こうしてできた養分が、雨水とともに土の深いところへ運ばれる。
- ⑪ 木の根がそれをすい上げ、新しい葉や実を作る。
- ⑫ 風がふくと、葉が同じ場所に集まって厚く積もる。
- ⑬ 分解が進む速さが、気温や水の量で変わる。
- ⑭ たおれた木も、同じように長い時間をかけてくずれていく。
- ⑮ たとえば、公園のすみに葉を集めておくと、次の年には形がくずれている。
- ⑯ 森の中でこのはたらきが毎年くり返され、土が豊かに保たれる。

要約カード

落ち葉

は、

土の中の生き物

によって、

養分

になる。

□には、こうほから えらんだ 語を 左から 順に 入れる。

できあがる要約 … 落ち葉は、土の中の生き物によって、養分になる。

⑮は、しくみを くわしく 言いかえたり つけ足したり している 文だから。

まるつけの ポイント

3つの語が そろって 入っていれば ○。順番が ちがうと ×。

言いかえた語（「落ち葉」を「葉」など）は ×。本文の 書き方どおりに 写す。

⑮のように「たとえば」で はじまる 文は、くわしい 例や つけ足しなので 要約に 入れない。